

初日に向けて疾駆する



今年こそ

うまくいき

ますように

新年あいさつ	2ページ
定例会報告	3ページ
意見書・陳情書	4ページ
一般質問	5ページ
13年の活動	12ページ



(上段左から) 曾宮良壽議員、竹井信正議員、久保田秀昭議員、松本國夫議員、竹内和男議員、石井要祐議員、木原信次議員、市津広海議員
 (下段左から) 平山弘議員、土屋清資議員、矢島恵子議員、山田隆一議員、下川路勲副議長、大森忠勝議長、勢屋康一議員、大堂園治議員、竹井和明議員、安部正開議員

あけまして

おめでとうございます



議長 大森 忠勝

平成14年の輝かしい新春を迎えるにあたり、皆様のご清福をお祈り申し上げますとともに、町行政及び議会に対するご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は海外で、同時多発テロや戦争など悲惨な事件が多くありました。また国内でも、いまだに出口が見えない不況、幼児虐待、少年犯罪など、暗く悲しい事件が続きました。このような中、昨年12月1日に愛子内親王様が誕生されました。一年の締めくくりに国民だれもが喜び、心が和む思いをされたのではないのでしょうか。ところで、本町は前町長の不祥事後、新町長とともに町政の信頼回復のため、議会も一丸となって取り組んでまいりました。

また、21世紀を迎えた昨年は、人と自然のやさしいハーモニーを基本理念として、第4次総合計画が策定されました。これにあわせて組織機構改革が行われ、こども未来課、環境共生課の新設、課の配置転換などがあり、少子高齢化、高度情報化、地方分権などの社会環境のめまぐるしい変化に対応するための第一歩としての一年でした。

本年は、新町長としてはじめての予算編成であり、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりになるような予算が提案されることを願っております。

議会といたしましても、予算内容については厳しくチェックしてまいります。

おわりに、今年一年が皆様にとりまして、より良い年になりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

12月定例会 (第4回) 定例会 の結果報告

12月定例会は12月7日から25日までの19日間で開催されました。審議内容及び結果は次のとおりです。

主な内容は、人権擁護委員の任期満了に伴う推薦及び教育委員会委員の任期満了に伴う任命。
また、図書館の広域的な利用を目的として、北九州市立中央図書館ほか二十六施設の利用と、岡垣サンリーアイの図書館の利用について関係市町村で協議が行われます。

水道事業では浄水場のポンプ取替などの補正です。12年度の決算では、一般会計は、歳入八十三億四千七百五十万円、歳出七十九億二千六百三十一万円、差引四億二千七十四万円となっています。主な事業としては、総務費では、ファシリテイングシステムの導入、6月の衆議院選挙及び1月の町長選挙、議会議員補欠選挙、シュレッダーの購入、パソコンの整備、サンリーアイ施設管理運営費などです。

民生費では、老人憩いの家の整備、いこいの里施設管理運営費、福岡県介護保険広域連合事業の負担金などです。
農林水産費では、ため池の整備、漁港内の整備などが行われました。
土木費では、町道の維持補修工事、公園整備などが行われました。
消防費では、消防車庫の改築や、元松原と古鍋田公園に耐震性防火水槽が設置されました。
教育費では、山田小学校校舎改築工事や各小中学校の施設改修等が行われました。

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(吉木一七五四番地 麻生洋海) 適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(山田九一四番地 二秋武重義) 適任
岡垣町教育委員会委員の任命について(三吉八一二番地 一野中陽) 賛成多数認定

岡垣町立小中学校設置条例等の一部を改正する条例 可決
岡垣町税条例の一部を改正する条例 可決
北九州市立中央図書館ほか二十六施設の利用に関する北九州市ほか十八市町村との協議について 可決
岡垣サンリーアイ図書館の利用に関する北九州市ほか十九市町村との協議について 可決
平成13年度 岡垣町一般会計補正予算(第4号) 可決
平成13年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 可決
平成13年度 岡垣町水道事業会計補正予算(第2号) 可決
平成12年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について 可決
平成12年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
平成12年度 岡垣町老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
平成12年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
平成12年度 岡垣町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定
平成12年度 岡垣町農業及び漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について 認定



ファシリテイングシステムで机上もきれいに

山田小学校改築工事(グラウンド整備工事) 請負契約について 可決
岡垣町議会議員定数条例の制定について 可決
JR不採用問題の早期全面解決を求める意見書 可決
国民健康保険の資格証交付に関する請願書 採択
JR不採用問題の早期全面解決を求める意見書に関する請願 採択
上水道・下水道の早急な設置を求める陳情書 採択
セーフガード本格発動に関する陳情書 取下げ

請願・陳情

J R 不採用問題の早期全面解決を求める意見書

国鉄が分割民営化され J R 会社が発足した際に、旧国鉄職員の一部が J R に採用されない、いわゆる J R 採用差別事件が生じてから丸14年が経過し、不採用となった旧国鉄労働者とその家族は一日も早い解決と生活の安定を望んでいる。

この問題について、本町議会ではこれまでも「早期解決を求める意見書」を採択し、関係行政庁に提出してきたところであるが、未だ解決に至っていない。

このような中で、ILO（国際労働機関）は、1999年11月及び2000年11月の2回にわたり、「当事者に満足のいく解決に早急に到達するため、J R 会社と申し立て組合間の交渉を奨励する。関係する労働者が公正な補償を受けられるよう保証する。」ことを示した勧告をもって、日本政府に早期解決を促した。

こうした諸情勢を受けて、各政党間関係者にあつては解決に向けた協議も始まっており、政府におかれても、この機会を逃すことなく主体性をもってこの問題を早期に解決することが求められている。

よって、本町議会は、政府に対して、この問題の一刻も早い全面解決に向け、一層努力されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年12月25日

福岡県岡垣町議会

内閣総理大臣 小 泉 純一郎 殿

厚生労働大臣 坂 口 力 殿

国土交通大臣 扇 千 景 殿

上水道・下水道の早急な設置を求める陳情書

貴職におかれましては、岡垣町民の福祉の向上と民生の安定にご尽力されていますこと、深く感謝しお礼を申し上げます。

さて、岡垣町においては近年都市機能を有した「まちづくり」を進められ、町民は文化的で清潔な環境の中で生活をするできるようになりました。

しかしながら、海老津区におきましては、未だ上水道の未給水地域が「小局・小西組・上組の一部」と存在し、下水道においては、上記地域と「宝」地域が未設置であります。同じ海老津区民でありながら、こうしたサービスを受けられぬことは、民生の安定にほど遠く、住民間の不信感を増加させています。海老津区の円満な自治活動を運営していく上でも、等しく権利と義務を与えられたいと思います。

こうした点からも、是非とも標記施策を早急に実現していただきますよう、海老津区民を代表し陳情いたします。

平成13年8月29日

岡垣町大字海老津1318番地10

海老津区長 明 石 全 博

岡垣町議会議長 大 森 忠 勝 様



安部 正開議員

道路整備について

問 国道3号線バイパスの複線化が、北九州市と福岡市の間で岡垣だけがこつている。現在どのような取り組みをされているのか。

答 遠賀バイパスの複線化により、遠賀の渋滞は緩和された。国の意向としては岡垣町の全体の人口増加と今後想定される駅南側開発計画による人口増加を理由として検討されている。町としても強力に要望していく。

問 県道岡垣宗像線及び海老津源十郎線の取り組みはどのようなになっているのか。

答 岡垣宗像線はアクセス道路として期待されており全路線は平成18年に完成予定と聞いているが、早期完成を県に要望する。また



海老津源十郎線は、平成14年度より5カ年計画で実施する。

問 県道岡垣宗像線の海老津宝から白谷方面への延長計画はどのようなになっているのか。

答 駅南側經由上海老津1号線の接続は、宝地区住民の要望も強く、駅南側の開発促進インフラ事業でもある。平成14年度より特開事業で、単年毎事業として実施する。

漁業活性化と観光の振興について

問 道の駅については、計画が進んでいるが、海の駅の計画はないのか。

答 現在のところ計画はしていないが、漁業振興計画を策定中で、この中で考えて行きたい。進めるにあたっては、漁業者は当然ながら町全体が主体者意識



休日には渋滞する岡垣バイパス。早期複線化を!

で取り組む必要がある。**問** 自転車道の有効活用について何か取り組みがあるのか。

答 現在のところ具体的な計画はないが、県が海水浴場付近に休憩所を整備し、トイレやベンチを設置する予定である。

問 通学合宿の建設については、若潮荘を利用しているが、建設の予定はないのか。

答 若潮荘では利用面で機能できないため、現在策定を進めているエンゼルプランの内容をふまえて、現在ある町有地の有効活用により平成14年度基本設計を策定し実施したい。



下川路 勲議員

戸切区内の安全対策について

問 戸切橋からJRガード下までの道路幅が狭くて離合が大変である。道路整備の計画はないのか。

答 一方通行という方法も考えられる。

問 一方通行にした場合、遠賀町にかかるガードは見通しも悪く、道幅も狭い。そのようなところを通らせるのか。

答 一つの案として検討しているところである。

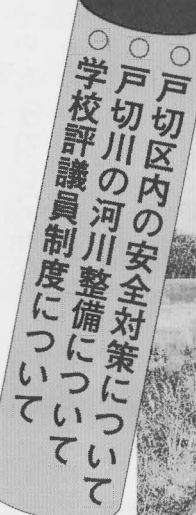
問 狭い場所でも離合場所を設ければよいのではないのか。

答 それも一案だと思う。離合場所を設置する場合はぜひ舗装をしていただきたい。

問 今後の検討課題にしたい。戸切川の河川整備について戸切川は少しの雨でも



一歩まちがえれば、川の中 (戸切橋～JRガードまでの間)



増水し、近くにある民家は孤立してしまう。また、児童の登下校にも影響を及ぼしている。何か対策を考えているか。

答 戸切川は県管理の河川であり、町独自で取り組みができない。現在、下流から拡幅工事が行われている。

問 取り組みないからとそのまましておくのか。

答 戸切川改修期成同盟会の中で検討していきたい。

問 現状は急を要すると思うか。

答 検討・協議しながら対策を考えていきたい。

問 学校評議員制度について

答 学校評議員は充職的になっていたのではないのか。

問 評議員の定数を減らすほうが大変である。問題が発生するのではないのか。

答 削減の対象者には失礼がないように指導していく。また、反省点を把握し、みのある評議員制度と、かたちだけの「こども110番」にはならないようにしていく。



平山 弘議員

公共工事について

問 公共工事は住民の税金によって行われている。行政の管理・監督・検査はどのように行っているのか。
答 工事施行は、業者の責任施行を基本に実施している。

また、監督、竣工検査は課長及び係りが現場確認や工事写真、関係書類等により行っている。
問 A業者の申告によつ



吉木第三活水幹線(その9)工事

問 行政として責任を明確にすること。町長及び課長は自分自身を厳

公共工事について
町有地について

て、B業者による工事写真の改ざんが明らかになった。このことは町の財務規則に照らして完成品の検収が妨害されたという重大問題だ。どのように処置したのか。

答 B業者は3カ月の指名停止処分にした。

A業者も改ざん写真を撮らせたので1カ月の指名停止処分にした。

問 管理・監督責任のある行政の責任はどのようになったのか。

答 職員にも十分な注意を促し、厳重な監督をしていきたい。

また、業者にも研修会、セミナーなどを通して指導していく。

問 行政として

責任を明確にすること。町長及び課長は自分自身を厳

しく戒めないと、けじめもつかず、責任も果たせない。

問 観光関連施設の整備・充実・PRについて

答 厳重に公共工事を行っていく。職員、業者には厳しく指導していく。

問 防火水槽が埋設されている町有地は行政財産か普通財産か。

答 今は確認していないが、公共の用に供するものだから行政財産としての位置づけをしていきたい。

問 普通財産の処分の基準はどのようになっているのか。

答 売却することが町の財政上効率的に目的を達成できると考える場合は、売却することもある。

売却する場合は、地方自治法に基づいて公開入札、随意契約もあるし、隣接する人に売却することもある。

問 町有財産の維持管理の委託・貸付・処分を財務規則に基づいて行い、住民の中に不和をつくり出してはならない。

答 県が整備している遠賀宗像自転車道の開通に伴い、休憩所に駐車場やトイレ、ベンチなどが設置される予定である。

海水浴場の休憩所を活かしながら、周年利用できる方法を検討する。また、町の文化財などを大切にしたい。

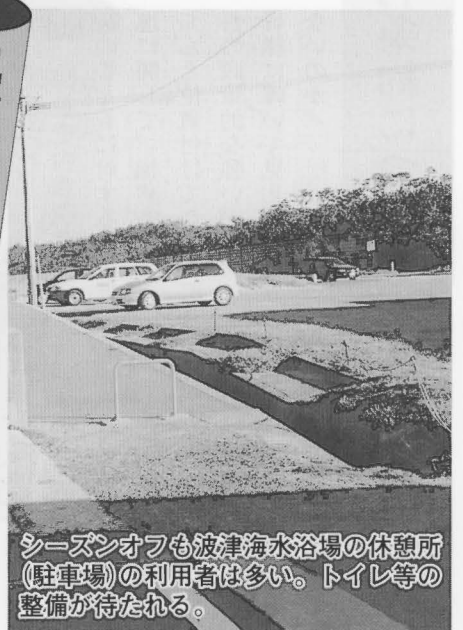
問 観光開発を行い、文化財をめぐめるような観光コースや、観光ガイドなどの実現についても考えたい。

答 青少年健全育成事業や、生涯学習などに供する宿泊施設の建設についての考えはあるのか。

答 少子化対策を重点課



矢島 恵子議員



シーズンオフも波津海水浴場の休憩所(駐車場)の利用者は多い。トイレ等の整備が待たれる。

観光関連施設の整備・充実・PRについて
楽しく学べる環境づくりについて

題として、エンゼルプランを策定中であるが、その結果を踏まえて、多目的に活用できる新たな施設の整備を計画する。

問 平成14年に基本計画を作成し、建設場所は町有地の有効活用を考えている。

答 現在、校区の児童数は流動的で、大変難しいと考えているが、平成13年3月に策定した岡垣町教育基本構想に明記しているとお

り、校区割や通学方法につ

問 少子高齢化社会を見据えた、学校の区の見直しについての考えはあるのか。

答 社会教育における男女共同参画社会の実現に向けての啓発は、公民館事業として、女性セミナー等を取り組んでいるが、来年度は夜間学習の場の啓発を企画・計画している。



大堂 園治議員

○ 財政問題について

財政問題について

問 景気の長期低迷や急激な高齢化の進化により、財源問題が地方行政により大きな影響を与え、深刻な問題となっているが、町長はどのように認識しているのか。

答 深刻な重要問題として認識しており、今後の行政運営の困難さを痛感している。

問 第4次総合計画の柱として「住民と行政の協働による町づくりの推進」を掲げており、そのためには町民に財政情報も積極的に開示していくべきと思うが、考えはどうか。

答 財政情報の現状も今後の計画についても、積極的に開示して共有していきたい。

問 町は負債が約百三十億円（町民一人当たり約四十一万五千元）あるが、借入先、金利、償還計画はどのようになっているのか。

答 計画的に確実に償還していきたいと考えている。

問 町は目的別に約六十二億円の積立基金があり、14年度から実施のペイオフ制度への対策はどのように考えているのか。

答 安全運用を図るために、真剣に対策案を検討していきたい。

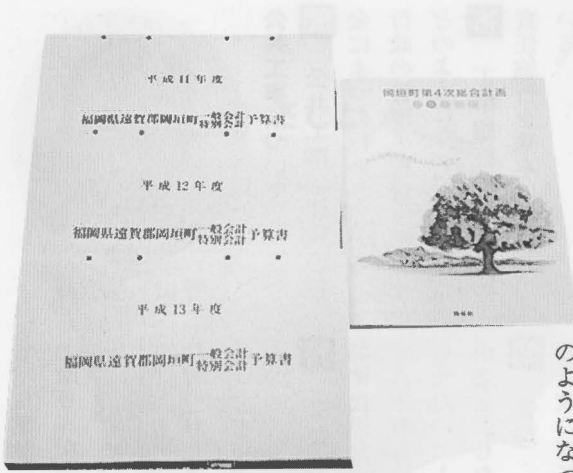
問 町民に負債や資産などを公開するために、総務省がバランスシートの作成と活用をすすめているが、この対応をどのように考えているのか。

答 関係者で十分検討して、作成、活用を図っていききたいと考えている。

問 予算編成は、前年度実績や各課の積み上げ、そして幹部調整という手法をベースとしているが、最善の手法を検討し、見直す考えはないのか。

答 現在の手法も定着し、良い方法だと思っているが、今後もベストを目指しているいろいろな検討していきたい。

「実施計画書と予算書」岡垣の未来が詰まっている。



久保田 秀昭議員

児童の権利条約について

問 今、大きな問題となっている不登校、ひきこもり、いじめ、学級崩壊、親による虐待、少年非行、性の商業化による影響など、子どもを取り巻く状況は深刻である。

答 これらは、子どもたちの権利が守られていない具体的な実態であり、そういう状況の中で、子ども未来課が設置された。このことは子どもに対する施策の充実への決意の表れだと思う。そういう意味では権利条約をきちんと課設置の意義に位置付ける必要がある。こども未来課設置の目的と意義は何か。

答 今日行政課題となっている少子高齢化対策の充実を図る視点から学童保育

○ 児童の権利条約について



未来をにうこども達、取り巻く環境が大切

問 課設置の意義及び今後のこどもに対する政策推進に関して、権利条約をきちんと位置付けてこそ、町長の政策的な願いが町民の皆様には輝いて見えるのではないのか。

答 議員の言われるように権利条約を位置付ける。今後の取り組み等についての考えは。

問 今後の取り組み等についての考えは。

答 こども未来課を総合窓口と位置付け、各行政部門の連携をはかりながら、効率的にすすめていきたい。

問 学校給食や保育所の民間委託問題が行政改革推進委員会で検討されている。行政改革推進委員会ならびに町長に対して、コスト論ではなく、権利条約の視点から十分に検討されることを強く求める。

○ 今後の農業行政について
○ 青少年の社会教育について

問 今後の農業行政について

農業を取り巻く環境は、農産物輸入の増大に伴う一般的な価格の下落、米

作においては四十パーセントの減反と、大変厳しい状況にあるが、国は食料自給率の向上のため、農地を守

れという農地法の規制をかけているのが現状である。

国策である農業構造改革の中、集積農業化を推進しているが、当町は集落営農

組合が主流になっている。

これは短期的な施策ではないのか。また何が原因なのか。

答 農業従事者は高齢者が多いため、長期的には維持が難しいと思われる。

問 今後は、集積農業化が進むなか、生産組合員

減少に伴い、休耕田、農道、ため池等の保全が難しくなるのではないのか。

答 今後の農業行政については、基本的には第4次総合計画に沿った施策を推進したいと考えている。

問 青少年の社会教育について

最近、若い夫婦による幼児・児童虐待がおきているのは、環境の変化によるもので、核家族による兄弟愛、縦社

会の対応の低下等によるものである。

原因として考えられることは連帯感、協調性、苦難を克服する力の低下であると思われる。そこで

親の干渉のし過ぎ、過

保護などが指摘される。

こうした状況下で、通学

合宿が行われているが、指導者の苦勞で回を増すごと

に、子どもが主体の活動になってきたことは、一定の理解をしている。そこで育成会・子ども会等、各団体の活動を支援する指導マニュアルを作成すべきではないのか。

答 現状は考えていないが、来年度に向けて、子どもが主体で、大人が支援する事業への取り組みを進めていく。



市津 広海議員

原因として考えられることは連帯感、協調性、苦難を克服する力の低下であると思われる。そこで親の干渉のし過ぎ、過



農家も後継者問題で頭がいたい



石井 要祐議員

問 社会教育施設とサンリーアイについて

社会教育（体育）施設及び岡垣サンリーアイの年間の利用状況はどのようになっているのか。

答 町立公民館は年間約十二万人、社会教育施設約二十一万人、サンリーアイ約二十六万人が利用している。

問 町の各施設とサンリーアイの関係をどのように見ているのか。

答 岡垣サンリーアイは、住民の文化・スポーツ活動の拠点として整備してきたが、社会教育施設とともに「底辺の拡大」「活動の充実」を基本として、連携を図っていくことが大切です。

問 ウェーブアリーナをもっと有効に利用できないのか。

答 現在のアリーナは2面割にできるが、今後4面



町立中央公民館のテニスコート、利用者が少なくなった

割で使用できるように考えていく。

問 サンリーアイは、町のほぼ中心に位置しており、町民にとって利用しやすいと思われる。

しかしながら、多くの町民が参加するイベント・講演・行事等では、駐車場の確保も難しい。交通の利便性についての考えはあるのか。

答 担当課と今後の対策を十分検討していく。

問 町立公民館について

中央公民館の年間利用者者が三万四千人、町民陶芸所が四千六百人と多くの人が利用している。

しかし、テニスコートの利用者は年間六十人である。このテニスコートを、駐車場などに有効活用ができないのか。

答 財政的な面が出てくるので、執行部と協議して考えていく。

要望 執行部と教育委員会と協議・検討され、前向きに考えていただきたい。

また、中央公民館の男子トイレの増設及び幼児が使用できるように改善を願う。



竹内 和男議員

合併問題について

問 「合併は、住民が豊かな暮らしをおくるための有効な手段」との認識が町長にあるのに、なぜ3町合併に踏み込まないのか、その理由は何か。

答 芦屋町が参加しないからといって、即座に岡垣、水巻、遠賀町の3町で合併を進めていくということにはならない。

必要な時期がくれば、いろいろな選択肢を含めて検討すべきと考える。

問 必要な時期とはいったいことなのか。

答 私が必要と思うときが時期で、今は、明確に答えられない。

問 いろいろな選択肢とは何か。

答 2町とかも考えられないことはないし、3町とかも考えられる。財政力を考え、固定的な考えはない。

問 4町ならいいが、なぜ3町ではいけないのか。

答 4町で10年間議論してまとまらなかった。行政として、今すぐには対応できない。

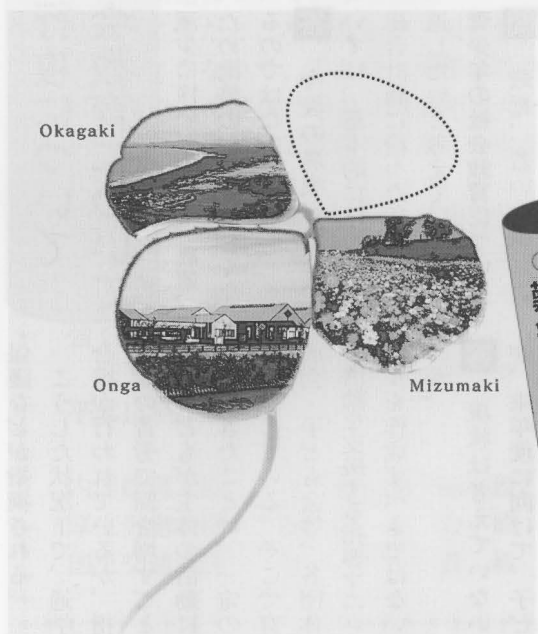
問 時期を明示されていないが、総合計画は遵守されないのか。私たちは総合計画を遵守する。町長がどのように消極的であれば、3町同一請求を相談しながら行う考えをもっている。

答 住民発議の問題についても、真剣に受け止めていきたい。

難病対策について

問 9月定例会での答弁で「平成14年度から特定疾患医療費の患者負担への支援策として、見舞金制度を創設する方向で進める」としていたが具体的な方法を聞かせてもらいたい。

答 平成14年度の予算審議で、承認が得られるなら「岡垣町特定疾患患者見舞金支給要綱」を定め、毎年12月に患者一人あたり一万二千元の見舞金を支給したい。



竹井 信正議員

町行政の運営について

問 行政の組織体制づくりで、どのような組織づくりをしたのか、その成果はどうか。

答 平成13年6月4日に第4次総合計画を実施するため、平成11年度から12年度にかけて事務事業の実態調査、課長、係長の個別ヒヤリング等を実施し、行政の取り巻く環境の変化に対応していくため、機構の見直しをした。

再編は、6カ月を経過したばかりで、各課の事務量等のヒヤリング等を実施しながら検証し、問題があれば改善する。

問 各課長・係長の大幅な異動で、第4次総合計画は実施できるのか。

答 組織改革、人事異動で事務事業に支障が出ないようにしている。

町行政の運営について

問 欠員が出ている室、課は、過重労働になっていないのか。

答 少数精鋭で努力を願っている。

問 東部出張所は、所長と臨時職員のみで、所長が休暇をとったときの対応で何か問題は生じていないのか。また、高齢者が多いだけに、窓口サービスを怠らないようにすること。

答 機構改革後、問題は生じていないと聞いているが、所長の不在のときは総務課が責任を持って対応している。

問 町民との対話行政について、町長は町民の目線で、地域の人と対話すると言っているが、経過を聞きたい。

答 昨年8月から、各種団体との意見交換を実施している。

問 各種団体だけでなく、各区の隣組長会議が、月に1度は開催されている、ぜひ参加してほしい。



町民と行政の協働による町づくり

一般質問

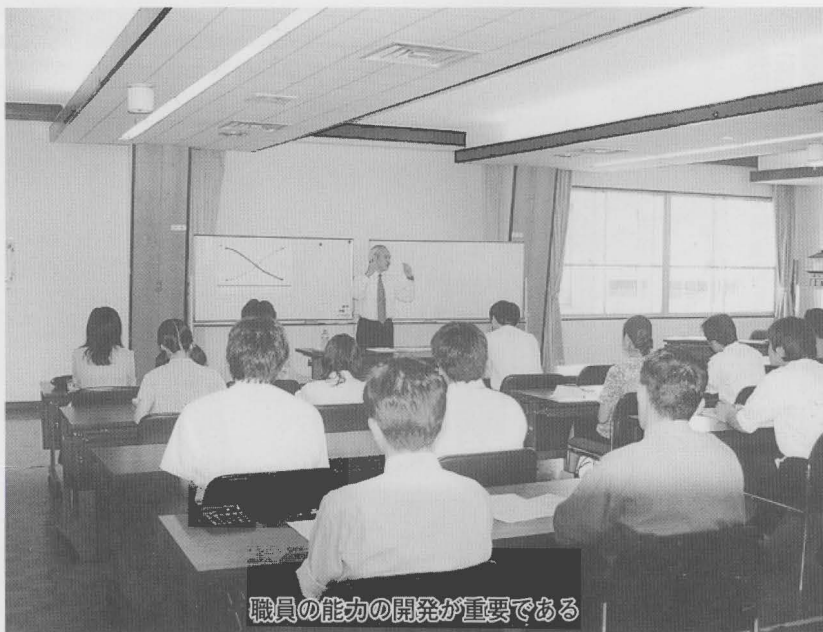


曾宮 良壽議員

問 人材の評価と研修について 「人材とは」、町長の考えを

答 広辞苑では「才能ある人物」「役に立つ人物」となっているが、本町では次のおり位置づけて、人材育成に取り組んでいる。行政組織の目的は、地域住民の信託に基づき、課題を解決しながら、住民福祉の向上と地域の振興を図ることです。特に、地方分権の推進により、自治体は自ら考え、地域にあった施策を展開する「政策自治体」への転換が迫られている。行政組織の目的を達成するためには、組織の構成員である職員の能力を最大限に

○人材の評価と研修について
○人事交流の考えについて



職員の能力の開発が重要である

引出すことが重要であり、今後は自ら考え、解決策を見出すことができる、政策立案型職員の育成を図る。人事交流の考えについて

問 人材育成と研修の考えで、郡内4町で人事交流を進める考えはないのか。

答 検討する。



土屋 清資議員

子育てマニュアルづくりに
ついて

問 子どもの健全育成のため、子育てマニュアルをつくり、配布する考えはないか。

答 子育ての課題の内容は、複雑で広範囲にまたがっている。子ども未来課では母子相談、育児相談、健康診断、健康相談等を実施しており、その際に、参考資料として適切な手引となるパンフレットや本を無料配布し、子育てに役立ててもらっており、十分に役割を果たしていると思う。新たにマニュアルを作成し、配布する考えはない。サンリーアイの管理・運営について

○子育てマニュアルづくりに
ついて
○サンリーアイの管理・運営について



ひとづくり拠点施設サンリーアイは8年が経過した

問 サンリーアイの管理・運営はどのようになっていくのか。

答 (財)サンリーアイ管理公社が管理運営を行っている。

問 名を職員を派遣している。今後は徐々に職員を減らし、サンリーアイ職員自らで運営できるようにしたいと考えている。

答 今後の課題としては、交替が支障なく進むかどうか課題である。

問 サンリーアイに職員を何名派遣しているのか。

答 また、今後はサンリーアイ職員だけの運営についての考えはないのか。

答 サンリーアイには4

問 第4次総合計画の具体的施策についての実施はいつごろなのか。

答 本年中に本庁舎を含めたサンリーアイ周辺を文化交流拠点として、どのようにとらえるか、今後の方向性を打ち出したい。



「手をつなぐ親の会」との親睦



三里松原の松葉かき

ふれあいスポーツデー



13年の活動



和歌山市の雑賀崎漁協を行政視察
(経済建設常任委員会)



京都市の保育所公設民営方式について行政視察
(文教厚生常任委員会)



栃木県壬生町の情報公開条例を行政視察 (総務常任委員会)

編集後記

議会の活性化

夢と希望を託した21世紀のスタートは、「戦」という字で世相が表現されるように、暗くて失望の幕開けとなった。

日本国内が景気の低迷と少子高齢化で財源不足に陥り、その結果として行財政改革の議論が巻き起こっている。地方行政にとっても財政問題は深刻化し、行政コストの削減や、効率・能率化が大きな課題となってきた。町議会においても、多様化する福祉・安全、生活の向上を図るために、大きな役割と責任を自覚し、活性化が求められている。

議会活動の現状を見直し、新しい発想で、議会のありかたを全員で協議・実践していくことを申し合わせました。重要施策の最終決定や行財政の運営と事務処理の監視という議会のおおきな役割と責任を十分に果たすために全員で研究していきたい。

このことが、住民の信頼に応え、議会の権威を高めていくことにつながる道だと自覚しています。議会全員で協力して、真剣に取り組んでいきます。

大堂圏治

議会広報委員会

- 委員長 下川路 康 一
- 委員 勢屋 康 一
- 委員 大堂 圏 治
- 委員 矢島 恵 子
- 委員 山田 隆 一